別添 4

令和 6 年度厚生労働行政推進調査事業費（長寿科学政策研究）
（総括・分担）研究報告書

生活期リハビリテーション手法の標準コードの Feasibility 調査

研究分担者：塩田　繁人（広島大学病院・診療支援部リハビリテーション部門・作業療法士）
吉川　浩平（広島大学病院・診療支援部リハビリテーション部門・言語聴覚士）
安保　雅博（東京慈恵医科大学医学部・教授）
久保　俊一（京都府立医科大学リハビリテーション医学教室・特任教授）
三上　靖夫（京都府立医科大学リハビリテーション医学教室・教授）
西村　行秀（岩手医科大学医学部・教授）
大高　洋平（藤田医科大学医学部・教授）
佐々木　信幸（聖マリアンナ医科大学医学部・主任教授）
百崎　良　（三重大学医学部付属病院・教授）
新見　昌央（日本大学医学部・教授）
河崎　敬　（京都府立医科大学リハビリテーション医学教室・講師）
木下　翔司（東京慈恵医科大学医学部・講師）
羽田　拓也（東京慈恵医科大学医学部・助教）
西山　一成（岩手医科大学医学部・講師）
中山　恭秀（東京慈恵医科大学医学部・准教授（理学療法士））
北村　新　（藤田医科大学保健衛生学部・講師（作業療法士））
清水　美帆（三重大学医学部附属病院リハビリテーション部・技師長（理学療法士））
秋田　智之（広島大学大学院医学系研究科・講師）

研究要旨：本研究では令和 5 年度研究課題において開発した生活期リハビリテーション手法の標準コードの Feasibility を検証する．全国の生活期リハビリテーションを実施している医療機関・介護事業所 32 施設を対象に横断調査を実施した．調査内容は施設区分，年齢，性別，主疾名，併存症，要介護度，Barthel Index，実施した専門職，実施した標準コード，分かりにくかった標準コードを Google Forms を用いた入力フォームで収集した．対象者は 1163 例（医療：622 例，介護 541 例）であった．

リハビリテーション手法の標準コード中項目のうち，判断に迷った/分かりにくかった項目は 062.注意訓練，073.音声訓練，081.摂食嚥下訓練（直接訓練）が 10%以上であった．リハビリテーション手法の大項目では，医療より介護保険の方が 03.歩行訓練と 05.IADL 訓練，09.物理療法，10.環境調整・支援を実施した割合が多く，介護保険のリハビリテーションの施設区分の比較では，05.IADL 訓練は訪問リハビリテーションで多く，08.摂食嚥下訓練は老人保健施設，09.物理療法は通所リハビリテーションで著明に多かった．

A. 研究目的

科学的根拠に基づく生活期リハビリテーション治療の実践のためには標準化されたデータ収集体制の整備が喫緊の課題である. 我々は, 令和 5 年度の研究課題において臨床実践に基づいたリハビリテーション手法の標準コードを開発し，適切性を検証した [1,2].

本研究では，生活期リハビリテーション手法の実践状況を調査し，Feasibility を検証する.

B. 研究方法

研究デザイン：横断研究.

対象：全国の生活期リハビリテーションを実施している医療機関，介護事業所 32 施設

調査期間：2024 年 12 月～2025 年 1 月

調査内容 : 施設区分, 年齢, 性別, 主疾名, 併存症, 要介護度，Barthel Index，実施した専門職，実施した標準コード，分かりにくかった標準コードを Google Forms を用いた入力フォームで収集した.

データ処理 : 単純集計した後, 医療のリハビリテーションと介護保険のリハビリテーションに分けて比較した. また, 介護保険のリハビリテーションのうち，老人保健施設・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションの 3 群間を比較した.

（倫理面への配慮）

本研究は広島大学病院疫学倫理審査委員会の一環審査で承認を得た後，各研究分担施設の倫理審査委員会から承認を得て実施した（承認番号：E2024-0137）

C. 研究結果（資料１）

対象者は 1163 例（医療：622 例，介護 541 例）であった.

年齢は 81～90 歳が最も多く，71～80 歳，91～100 歳の順に多かった．性別は女性 53.7%であった．医療と介護保険のリハビリテーションの比較では，要介護度は医療では該当なしが約半数と最も多かったが，介護保険では要介護 2: 21.6%，要介護 1: 17.9%，要介護 3: 17.2%の順に多かった．主疾患名は医療と介護保険どちらも脳血管疾患，骨関節疾患の順に多かったが，医療では廃用症候群 10.0%, 介護では神経筋疾患が 7.6%と多かった. 併存疾患では，医療が慢性心不全 14.6%，疼痛 10.0%，骨関節疾患 9.2%の順に多く，介護保険では骨関節疾患 14.4%，脳血管疾患 12.4%，慢性心不全 10.2%の順であった．リハビリテーションを提供した専門職は医療では理学療法士が 94.1%，作業療法士 55.8%, 言語聴覚士 29.9%であったが，介護保険では理学療法士 83.4%，作業療法士 42.9%，言語聴覚士 14.4%と少ない傾向を認めた.

リハビリテーション手法の大項目では，医療より介護保険の方が 03.歩行訓練と 05.IADL 訓練，09.物理療法，10.環境調整・支援を実施した割合が多かった.

リハビリテーション手法の中項目では, 021.寝返り訓練，022.起き上がり訓練，023.座位保持訓練，043.整容訓練，047.更衣訓練，072.構音訓練，073.音声訓練，081.摂食嚥下訓練（直接訓練），082.摂食嚥下訓練（間接訓練）は医療の方が介護保険の 2 倍以上多かった．054.買い物訓練，055.外出訓練，091.温熱療法, 101.家屋評価・調整, 102.福祉用具・自助具の評価・選定，103.家族・支援者への指導は介護保険の方が医療より 2 倍以上多かった．判断に迷った/分かりにくかった項目のうち，10%を超えた中項目は，062.注意訓練，073.音声訓練，081.摂食嚥下訓練（直接訓練）であった.

介護保険のリハビリテーションで実施した標準コードの大項目の比較では，05.IADL 訓練は訪問リハビリテーションで多く，08.摂食嚥下訓練は老人保健施設，09.物理療法は通所リハビリテーションで著明に多かった.

D. 考察

本研究より，令和 5 年度に開発した生活期リハビリテーション手法の標準コードを用いた実態調査は十分に可能であり，実情を把握できることが示された．介護保険のリハビリテーションにおいては施設区分によって実施されるリハビリテーシ

ョン治療の内容は異なっており，要介護度や認知症自立度が影響を実施する訓練内容に影響を及ぼすと推察された．今後はADLに影響を与える標準コードについて検討を進める必要がある．また，より臨床で利活用しやすい標準コードとするため，手引きの活用・普及を進めることを検討している．

E．結論

生活期リハビリテーション手法の標準コードを用いた実態調査は実行可能であった．

文献

1） 三上幸夫，塩田繁人，浅枝諒：医療保険と介護保険のリハビリテーション連携の現状と課題．臨床リハ 33 (9): 873-880,2024.

2） Shiota S, Mikami Y, et al: Establishing Standard Categories of Rehabilitation Approaches in Long-Term Care: A Delphi Consensus Study. Prog Rehabil Med (In Review)

F．健康危険情報

特になし

G．研究発表

（論文発表）

1. 三上幸夫，塩田繁人，浅枝諒：医療保険と介護保険のリハビリテーション連携の現状と課題．臨床リハ 33 (9): 873-880,2024.

（学会発表）

1. 三上幸夫：生活期リハビリテーションの課題と標準化に向けた取り組み．第61回日本リハビリテーション医学会学術集会シンポジウム，2025年6月13日．

2. 荒木武弥、三上幸夫：介護保険の生活期リハビリテーション手法に関するアンケート調査．第61回日本リハビリテーション医学会学術集会，2025年6月13日．

3. 木曽紗也香、三上幸夫：生活期リハビリテーションにおける訓練手法の全国アンケート調査研究．第61回日本リハビリテーション医学会学術集会，2025年6月13日．

4. 三上幸夫：生活期リハビリテーション診療における訓練コードの適切性の検証．第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会, 2025年11月3日．

5. 松岡見咲、三上幸夫：当院における訪問リハビリテーションの実態調査．第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会, 2025年11月3日．

H.知的財産権の出願・登録状況

特になし

表１．基本情報の医療と介護保険のリハビリテーションの比較

	全体 (N=1163)		医療 (N=622)		介護保険 (N=541)	
年齢	n	%	n	%	n	%
20 歳未満	18	1.5%	18	2.9%	0	0.0%
21～30 歳	13	1.1%	11	1.8%	2	0.4%
31～40 歳	13	1.1%	12	1.9%	1	0.2%
41～50 歳	34	2.9%	25	4.0%	9	1.7%
51～60 歳	95	8.2%	67	10.8%	28	5.2%
61～70 歳	116	10.0%	81	13.0%	35	6.5%
71～80 歳	323	27.8%	172	27.7%	151	27.9%
81～90 歳	408	35.1%	188	30.2%	220	40.7%
91～100 歳	135	11.6%	46	7.4%	89	16.5%
100 歳以上	8	0.7%	2	0.3%	6	1.1%
性別						
女性	624	53.7%	317	51.0%	307	56.7%
男性	539	46.3%	305	49.0%	234	43.3%
要介護度						
該当なし	316	27.2%	310	49.8%	6	1.1%
要支援 1	51	4.4%	27	4.3%	24	4.4%
要支援 2	91	7.8%	30	4.8%	61	11.3%
要介護 1	127	10.9%	30	4.8%	97	17.9%
要介護 2	151	13.0%	34	5.5%	117	21.6%
要介護 3	132	11.3%	39	6.3%	93	17.2%
要介護 4	131	11.3%	43	6.9%	88	16.3%
要介護 5	88	7.6%	36	5.8%	52	9.6%
申請中	76	6.5%	73	11.7%	3	0.6%
認知症自立度						
認知症なし	499	42.9%	340	54.7%	159	29.4%
Ⅰ	174	15.0%	59	9.5%	115	21.3%
Ⅱa	113	9.7%	36	5.8%	77	14.2%
Ⅱb	122	10.5%	44	7.1%	78	14.4%
Ⅲa	110	9.5%	40	6.4%	70	12.9%
Ⅲb	43	3.7%	21	3.4%	22	4.1%
Ⅳ	87	7.5%	70	11.3%	17	3.1%
M	15	1.3%	12	1.9%	3	0.6%

表１．基本情報の医療と介護保険のリハビリテーションの比較の続き

	全体 (N=1163)		医療 (N=622)		介護保険 (N=541)	
主診断名	n	%	n	%	n	%
脳血管疾患	453	39.0%	242	38.9%	211	39.0%
骨関節疾患（骨折含む）	313	26.9%	156	25.1%	157	29.0%
廃用症候群	81	7.0%	62	10.0%	19	3.5%
虚血性心疾患・心不全・大血管疾患	68	5.8%	44	7.1%	24	4.4%
その他	58	5.0%	27	4.3%	31	5.7%
神経筋疾患（パーキンソン病・ALS含む）	52	4.5%	11	1.8%	41	7.6%
がん	39	3.4%	26	4.2%	13	2.4%
脊髄損傷	35	3.0%	19	3.1%	16	3.0%
呼吸器疾患（COPD・間質性肺炎含む、COVID-19 は除く）	32	2.8%	20	3.2%	12	2.2%
代謝性疾患（糖尿病・腎不全含む）	14	1.2%	5	0.8%	9	1.7%
COVID-19	8	0.7%	4	0.6%	4	0.7%
関節リウマチ	5	0.4%	2	0.3%	3	0.6%
切断	5	0.4%	4	0.6%	1	0.2%
併存症						
慢性心不全	146	12.6%	91	14.6%	55	10.2%
骨関節疾患	135	11.6%	57	9.2%	78	14.4%
脳血管障害	124	10.7%	57	9.2%	67	12.4%
疼痛	99	8.5%	62	10.0%	37	6.8%
糖尿病	88	7.6%	53	8.5%	35	6.5%
冠動脈疾患	50	4.3%	35	5.6%	15	2.8%
慢性肺疾患	48	4.1%	21	3.4%	27	5.0%
神経系疾患	47	4.0%	22	3.5%	25	4.6%
うつ	33	2.8%	12	1.9%	21	3.9%
精神疾患	32	2.8%	16	2.6%	16	3.0%
視覚障害	31	2.7%	23	3.7%	8	1.5%
がん	30	2.6%	17	2.7%	13	2.4%
慢性腎疾患	27	2.3%	15	2.4%	12	2.2%
低体重（BMI	12	1.0%	9	1.4%	3	0.6%
末梢血管疾患	4	0.3%	1	0.2%	3	0.6%
肥満（BMI	4	0.3%	1	0.2%	3	0.6%

表 2. 対象者の所属する都道府県の内訳

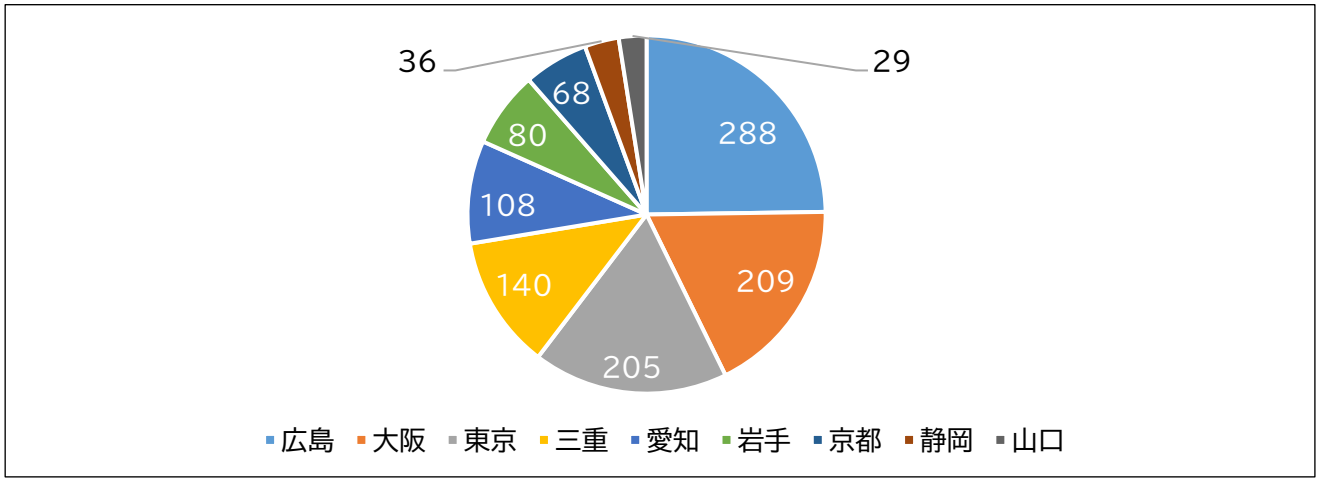

表 2. リハビリテーションを提供した専門職：医療と介護保険のリハビリテーションの比較

	全体 (N=1163)		医療 (N=622)		介護保険 (N=541)	
リハビリテーション治療を提供した専門職	n	%	n	%	n	%
イ. 理学療法士	1037	89.2%	585	94.1%	452	83.5%
ロ. 作業療法士	579	49.8%	347	55.8%	232	42.9%
ハ. 言語聴覚士	264	22.7%	186	29.9%	78	14.4%
ニ. 看護師	17	1.5%	15	2.4%	2	0.4%
ホ. 医師	10	0.9%	8	1.3%	2	0.4%
ヘ. その他	17	1.5%	17	2.8%	0	0.0%

表 3. リハビリテーション手法の標準コードの大項目の実施状況

	全体 (N=1163)		医療 (N=622)		介護保険 (N=541)	
標準コード大項目の実施状況	n	%	n	%	n	%
01. 運動療法	1135	97.6%	614	98.7%	521	96.3%
02. 基本動作訓練	933	80.2%	501	80.5%	432	79.9%
03. 歩行訓練	860	73.9%	443	71.2%	417	77.1%
04. ADL 訓練	736	63.3%	411	66.1%	325	60.1%
05. IADL 訓練	265	22.8%	99	15.9%	166	30.7%
06. 高次脳機能訓練	270	23.2%	150	24.1%	120	22.2%
07. 言語聴覚訓練	172	14.8%	110	17.7%	62	11.5%
08. 摂食嚥下訓練	178	15.3%	128	20.6%	50	9.2%
09. 物理療法	170	14.6%	74	11.9%	96	17.7%
10. 環境調整・支援	601	51.7%	220	35.4%	381	70.4%

表 4. リハビリテーション手法の標準コードの中項目の実施状況

	全体 (N=1163)		医療 (N=622)		介護保険 (N=541)	
標準コード中項目の実施状況	n	%	n	%	n	%
01. 運動療法						
011. 関節可動域訓練	915	78.7%	514	82.6%	401	74.1%
012. 筋力増強訓練	986	84.8%	518	83.3%	468	86.5%
013. 持久力（心肺機能）訓練	586	50.4%	327	52.6%	259	47.9%
014. バランス訓練	631	54.3%	339	54.5%	292	54.0%
015. 上肢機能訓練（協調性訓練・巧緻動作訓練を含む）	333	28.6%	191	30.7%	142	26.2%
019. その他の運動療法	150	12.9%	115	18.5%	35	6.5%
02. 基本動作訓練						
021. 寝返り訓練	273	23.5%	194	31.2%	79	14.6%
022. 起き上がり訓練	372	32.0%	255	41.0%	117	21.6%
023. 座位保持訓練	359	30.9%	261	42.0%	98	18.1%
024. 立ち上がり訓練	746	64.1%	398	64.0%	348	64.3%
025. 立位保持訓練	616	53.0%	353	56.8%	263	48.6%
029. その他の基本動作訓練	90	7.7%	65	10.5%	25	4.6%
03. 歩行訓練						
031. 歩行訓練（平地）	797	68.5%	425	68.3%	372	68.8%
032. 応用歩行訓練（段差・坂道・屋外を含む）	421	36.2%	201	32.3%	220	40.7%
039. その他の歩行訓練	53	4.6%	27	4.3%	26	4.8%
04. ADL 訓練						
041. 食事動作訓練	110	9.5%	70	11.3%	40	7.4%
042. 移乗訓練	369	31.7%	239	38.4%	130	24.0%
043. 整容訓練	151	13.0%	110	17.7%	41	7.6%
044. トイレ動作訓練	300	25.8%	187	30.1%	113	20.9%
045. 入浴訓練	159	13.7%	108	17.4%	51	9.4%
046. 階段昇降訓練	337	29.0%	183	29.4%	154	28.5%
047. 更衣訓練	193	16.6%	137	22.0%	56	10.4%
049. その他の ADL 訓練	25	2.1%	15	2.4%	10	1.8%

表 4. リハビリテーション手法の標準コードの中項目の実施状況の続き

	全体 (N=1163)		医療 (N=622)		介護保険 (N=541)	
標準コード中項目の実施状況	n	%	n	%	n	%
05. IADL 訓練						
051. 調理訓練（準備・片づけを含む）	45	3.9%	22	3.5%	23	4.3%
052. 洗濯訓練	50	4.3%	23	3.7%	27	5.0%
053. 掃除訓練	39	3.4%	21	3.4%	18	3.3%
054. 買い物訓練	57	4.9%	20	3.2%	37	6.8%
055. 外出訓練	113	9.7%	19	3.1%	94	17.4%
056. 余暇活動のための訓練	90	7.7%	34	5.5%	56	10.4%
057. 交通手段利用のための訓練	32	2.8%	12	1.9%	20	3.7%
058. 就労のための訓練	18	1.5%	11	1.8%	7	1.3%
059. その他の IADL 訓練	19	1.6%	9	1.4%	10	1.8%
06. 高次脳機能訓練						
061. 見当識訓練	131	11.3%	76	12.2%	55	10.2%
062. 注意訓練	180	15.5%	110	17.7%	70	12.9%
063. 記憶訓練	108	9.3%	62	10.0%	46	8.5%
064. 視空間認知訓練	62	5.3%	43	6.9%	19	3.5%
065. 遂行機能訓練	66	5.7%	39	6.3%	27	5.0%
069. その他の高次脳機能訓練	11	0.9%	6	1.0%	5	0.9%
07. 言語聴覚訓練						
071. 失語症に対する訓練	65	5.6%	41	6.6%	24	4.4%
072. 構音訓練	90	7.7%	63	10.1%	27	5.0%
073. 音声訓練	66	5.7%	45	7.2%	21	3.9%
074. 聴覚訓練	11	0.9%	8	1.3%	3	0.6%
08. 摂食嚥下訓練						
081. 摂食嚥下訓練（直接訓練）	131	11.3%	95	15.3%	36	6.7%
082. 摂食嚥下訓練（間接訓練）	117	10.1%	83	13.3%	34	6.3%
09. 物理療法						
091. 温熱療法	74	6.4%	17	2.7%	57	10.5%
092. 寒冷療法	10	0.9%	9	1.4%	1	0.2%
093. 磁気刺激療法	6	0.5%	6	1.0%	0	0.0%
094. 電気刺激療法	81	7.0%	39	6.3%	42	7.8%
095. 振動刺激療法	43	3.7%	16	2.6%	27	5.0%
099. その他の物理療法	7	0.6%	3	0.5%	4	0.7%

表 4. リハビリテーション手法の標準コードの中項目の実施状況の続き

	全体 (N=1163)		医療 (N=622)		介護保険 (N=541)	
標準コード中項目の実施状況	n	%	n	%	n	%
10. 環境調整・支援						
101. 家屋評価・調整	288	24.8%	65	10.5%	223	41.2%
102. 福祉用具・自助具の評価・選定	405	34.8%	134	21.5%	271	50.1%
103. 家族・支援者への指導	331	28.5%	115	18.5%	216	39.9%
104. 支援制度の相談	108	9.3%	57	9.2%	51	9.4%
109. その他の環境調整・支援	60	5.2%	36	5.8%	24	4.4%

表 5. 標準コードの中項目のうち，判断に迷った/分かりにくかった項目の割合

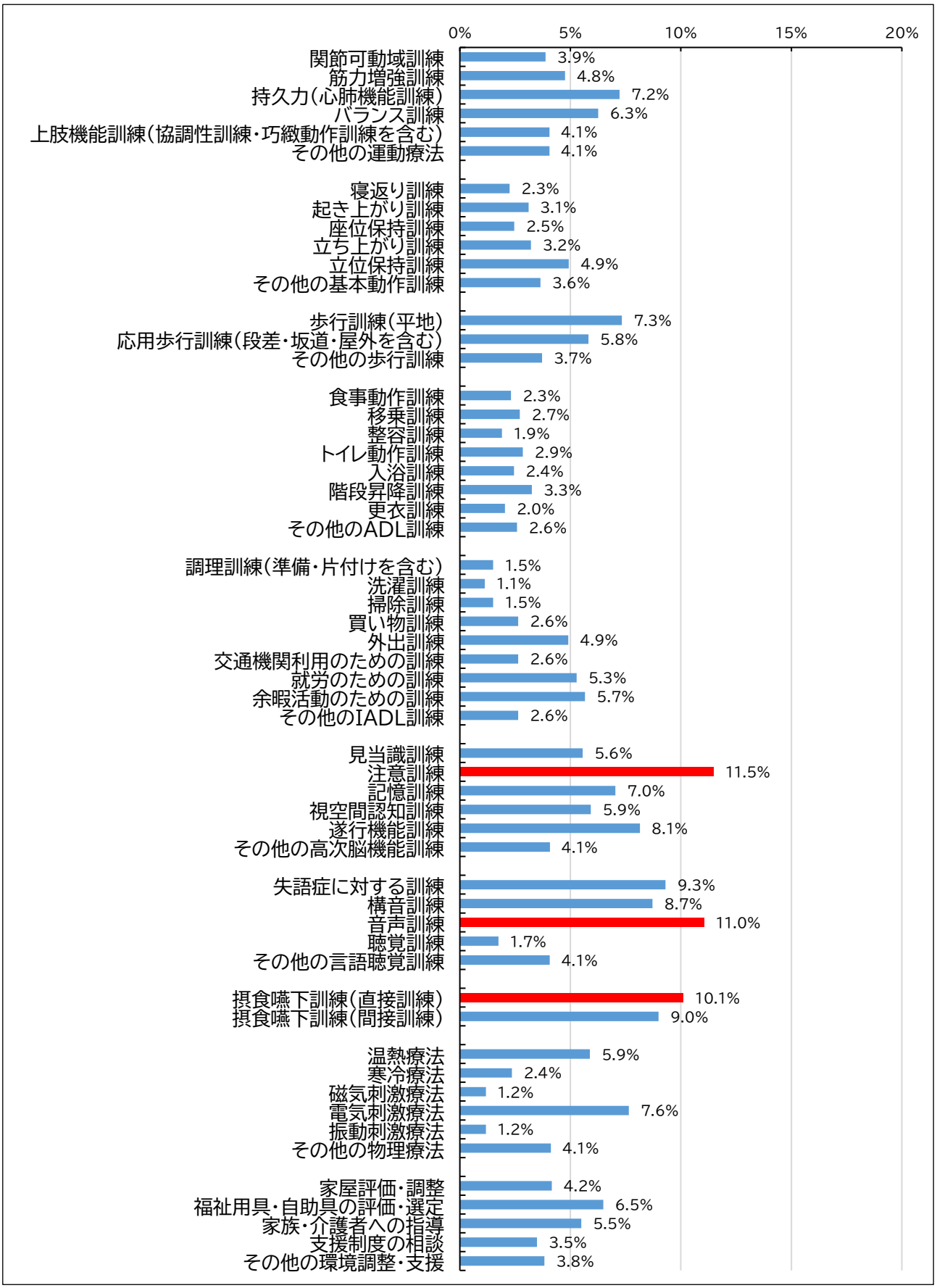

表 6. 介護保険のリハビリテーションにおける基本情報の比較

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
年齢						
41～50 歳	0	0.0%	3	1.7%	6	2.9%
51～60 歳	2	1.4%	8	4.7%	18	8.7%
61～70 歳	3	2.1%	16	9.3%	16	7.8%
71～80 歳	23	15.8%	59	34.3%	67	32.5%
81～90 歳	62	42.5%	70	40.7%	80	38.8%
91～100 歳	53	36.3%	14	8.1%	18	8.7%
100 歳以上	3	2.1%	2	1.2%	1	0.5%
性別						
男性	52	35.6%	78	45.3%	97	47.1%
女性	94	64.4%	94	54.7%	109	52.9%
要介護度						
該当なし	0	0.0%	0	0.0%	5	2.4%
要支援 1	4	2.7%	10	5.8%	10	4.9%
要支援 2	2	1.4%	26	15.1%	29	14.1%
要介護 1	14	9.6%	42	24.4%	40	19.4%
要介護 2	32	21.9%	37	21.5%	46	22.3%
要介護 3	30	20.5%	23	13.4%	39	18.9%
要介護 4	42	28.8%	21	12.2%	19	9.2%
要介護 5	20	13.7%	12	7.0%	18	8.7%
申請中	2	1.4%	1	0.6%	0	0.0%
認知症自立度						
認知症なし	5	3.4%	69	40.1%	79	38.3%
Ⅰ	19	13.0%	50	29.1%	42	20.4%
Ⅱa	28	19.2%	19	11.0%	30	14.6%
Ⅱb	30	20.5%	20	11.6%	28	13.6%
Ⅲa	42	28.8%	9	5.2%	18	8.7%
Ⅲb	12	8.2%	3	1.7%	6	2.9%
Ⅳ	8	5.5%	2	1.2%	2	1.0%
M	2	1.4%	0	0.0%	1	0.5%

表 6. 介護保険のリハビリテーションにおける基本情報の比較の続き

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
Barthel Index	45±26.4		76.8±26.3		77.0±26.4	
主疾患名						
脳血管疾患	39	26.7%	64	37.2%	55	26.7%
骨関節疾患（骨折含む）	55	37.7%	42	24.4%	38	18.4%
虚血性心疾患・心不全・大血管疾患	14	9.6%	4	2.3%	5	2.4%
廃用症候群	8	5.5%	4	2.3%	4	1.9%
呼吸器疾患（COPD・間質性肺炎含む、COVID-19 は除く）	6	4.1%	0	0.0%	4	1.9%
神経筋疾患（パーキンソン病・ALS 含む）	4	2.7%	13	7.6%	15	7.3%
代謝性疾患（糖尿病・腎不全含む）	3	2.1%	3	1.7%	3	1.5%
脊髄損傷	2	1.4%	1	0.6%	9	4.4%
関節リウマチ	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
がん	1	0.7%	3	1.7%	8	3.9%
COVID-19	1	0.7%	2	1.2%	1	0.5%
切断	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	12	8.2%	10	5.8%	4	1.9%

表 6. 介護保険のリハビリテーションにおける基本情報の比較の続き

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
併存症						
脳血管障害	33	22.6%	16	9.3%	15	7.3%
骨関節疾患	33	22.6%	25	14.5%	19	9.2%
慢性心不全	27	18.5%	9	5.2%	18	8.7%
慢性肺疾患	16	11.0%	4	2.3%	7	3.4%
糖尿病	12	8.2%	11	6.4%	12	5.8%
疼痛	10	6.8%	15	8.7%	12	5.8%
慢性腎疾患	9	6.2%	1	0.6%	2	1.0%
精神疾患	7	4.8%	3	1.7%	6	2.9%
がん	6	4.1%	3	1.7%	3	1.5%
冠動脈疾患	3	2.1%	5	2.9%	6	2.9%
神経系疾患	3	2.1%	11	6.4%	10	4.9%
うつ	3	2.1%	9	5.2%	8	3.9%
視覚障害	3	2.1%	2	1.2%	2	1.0%
低体重（BMI18.5 未満）	1	0.7%	1	0.6%	1	0.5%
聴覚障害	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%
末梢血管疾患	0	0.0%	2	1.2%	1	0.5%
肥満（BMI30 以上）	0	0.0%	2	1.2%	1	0.5%

表 7. 介護保険のリハビリテーションを提供した専門職

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
リハビリテーション治療を提供した専門職						
イ. 理学療法士	115	78.8%	161	93.6%	161	78.2%
ロ. 作業療法士	68	46.6%	92	53.5%	69	33.5%
ハ. 言語聴覚士	29	19.9%	26	15.1%	23	11.2%
二. 医師	0	0.0%	2	1.2%	0	0.0%
ホ. 看護師	0	0.0%	1	0.6%	1	0.5%

表 8. 介護保険のリハビリテーションで実施した標準コードの大項目の比較

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
生活期リハビリテーション手法の標準コードの大項目						
運動療法	141	96.6%	171	99.4%	191	92.7%
基本動作訓練	119	81.5%	141	82.0%	154	74.8%
歩行訓練	100	68.5%	153	89.0%	154	74.8%
ADL 訓練	100	68.5%	99	57.6%	116	56.3%
IADL 訓練	36	24.7%	33	19.2%	91	44.2%
高次脳機能訓練	46	31.5%	42	24.4%	29	14.1%
言語聴覚訓練	21	14.4%	16	9.3%	32	15.5%
摂食嚥下訓練	24	16.4%	14	8.1%	11	5.3%
物理療法	8	5.5%	68	39.5%	19	9.2%
環境調整・支援	69	47.3%	136	79.1%	169	82.0%

表 8. 介護保険のリハビリテーションで実施した標準コードの中項目の比較

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
生活期リハビリテーション手法の標準コードの中項目						
01. 運動療法						
011. 関節可動域訓練	104	71.2%	137	79.7%	144	69.9%
012. 筋力増強訓練	117	80.1%	163	94.8%	174	84.5%
013. 持久力（心肺機能）訓練	44	30.1%	120	69.8%	89	43.2%
014. バランス訓練	59	40.4%	99	57.6%	126	61.2%
015. 上肢機能訓練（協調性訓練・巧緻動作訓練を含む）	42	28.8%	51	29.7%	47	22.8%
019. その他の運動療法	11	7.5%	11	6.4%	10	4.9%
02. 基本動作訓練						
021. 寝返り訓練	24	16.4%	17	9.9%	29	14.1%
022. 起き上がり訓練	36	24.7%	32	18.6%	44	21.4%
023. 座位保持訓練	43	29.5%	20	11.6%	29	14.1%
024. 立ち上がり訓練	88	60.3%	126	73.3%	124	60.2%
025. 立位保持訓練	87	59.6%	77	44.8%	92	44.7%
029. その他の基本動作訓練	6	4.1%	5	2.9%	12	5.8%
03. 歩行訓練						
031. 歩行訓練（平地）	93	63.7%	140	81.4%	131	63.6%
032. 応用歩行訓練（段差・坂道・屋外を含む）	22	15.1%	82	47.7%	110	53.4%
039. その他の歩行訓練	10	6.8%	12	7.0%	4	1.9%
04. ADL 訓練						
041. 食事動作訓練	17	11.6%	9	5.2%	11	5.3%
042. 移乗訓練	68	46.6%	25	14.5%	31	15.0%
043. 整容訓練	21	14.4%	6	3.5%	11	5.3%
044. トイレ動作訓練	57	39.0%	23	13.4%	25	12.1%
045. 入浴訓練	7	4.8%	17	9.9%	17	8.3%
046. 階段昇降訓練	21	14.4%	64	37.2%	63	30.6%
047. 更衣訓練	21	14.4%	18	10.5%	16	7.8%
049. その他の ADL 訓練	5	3.4%	2	1.2%	3	1.5%

表 8. 介護保険のリハビリテーションで実施した標準コードの中項目の比較の続き

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
生活期リハビリテーション手法の標準コードの中項目						
05. IADL 訓練						
051. 調理訓練（準備・片付けを含む）	3	2.1%	4	2.3%	15	7.3%
052. 洗濯訓練	10	6.8%	5	2.9%	12	5.8%
053. 掃除訓練	2	1.4%	4	2.3%	11	5.3%
054. 買い物訓練	4	2.7%	4	2.3%	29	14.1%
055. 外出訓練	5	3.4%	23	13.4%	66	32.0%
056. 交通機関利用のための訓練	0	0.0%	7	4.1%	11	5.3%
057. 就労のための訓練	0	0.0%	3	1.7%	4	1.9%
058. 余暇活動のための訓練	23	15.8%	14	8.1%	19	9.2%
059. その他の IADL 訓練	1	0.7%	4	2.3%	4	1.9%
06. 高次脳機能訓練						
061. 見当識訓練	34	23.3%	11	6.4%	9	4.4%
062. 注意訓練	21	14.4%	17	9.9%	23	11.2%
063. 記憶訓練	22	15.1%	22	12.8%	6	2.9%
064. 視空間認知訓練	7	4.8%	8	4.7%	3	1.5%
065. 遂行機能訓練	11	7.5%	9	5.2%	7	3.4%
069. その他の高次脳機能訓練	0	0.0%	4	2.3%	1	0.5%
07. 言語聴覚訓練						
071. 失語症に対する訓練	5	3.4%	7	4.1%	11	5.3%
072. 構音訓練	11	7.5%	8	4.7%	8	3.9%
073. 音声訓練	9	6.2%	4	2.3%	8	3.9%
074. 聴覚訓練	2	1.4%	1	0.6%	0	0.0%
079. その他の言語聴覚訓練	2	1.4%	1	0.6%	2	1.0%
08. 摂食嚥下訓練						
081. 摂食嚥下訓練（直接訓練）	20	13.7%	8	4.7%	7	3.4%
082. 摂食嚥下訓練（間接訓練）	12	8.2%	11	6.4%	10	4.9%

表 8. 介護保険のリハビリテーションで実施した標準コードの中項目の比較の続き

	老人保健施設 n=146		通所リハビリテーション n=172		訪問リハビリテーション n=206	
	n	%	n	%	n	%
生活期リハビリテーション手法の標準コードの中項目						
09. 物理療法						
091. 温熱療法	6	4.1%	43	25.0%	8	3.9%
092. 寒冷療法	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
093. 磁気刺激療法	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
094. 電気刺激療法	1	0.7%	32	18.6%	9	4.4%
095. 振動刺激療法	0	0.0%	19	11.0%	7	3.4%
099. その他の物理療法	1	0.7%	3	1.7%	0	0.0%
10. 環境調整・支援						
101. 家屋評価・調整	38	26.0%	86	50.0%	99	48.1%
102. 福祉用具・自助具の評価・選定	49	33.6%	95	55.2%	126	61.2%
103. 家族・介護者への指導	32	21.9%	80	46.5%	101	49.0%
104. 支援制度の相談	10	6.8%	12	7.0%	27	13.1%
109. その他の環境調整・支援	9	6.2%	14	8.1%	1	0.5%